



早川堀キャンドル・鯛車

明るい新潟下町の未来

田舎すぎず、都会というわけでもなく、観光名所もなく、地元店も少なくなっている。過去、港町として繁栄していたために土地代だけは高く、家を建て替えずらく、空き家が多くなる。就職先はないが、家を継がないといけないほど縛られてはいない…。

これからの地域活性化のネックとなってくるのは、私たちが住む新潟下町のような立ち位置にいる昔ちょっと栄えた地方のまちなかかもしれません。そんな新潟下町に住むみんなが集まり、それぞれの思いで、地元がこれからどうなっていくべきかを考えたことがこのプロジェクトの背景となっています。

明るい新潟下町の未来が考えられるのは、やはり「若い人達が住みたいと想う街」にすることだということになり、まずは、さまざまな新潟下町の団体が、いろいろな活動をしていることの情報共有化して、共通化できる集客ツールを考えることになりました。

それが『早川堀通り☆キャンドルナイト』です。

このプロジェクトでは、地域学生と新潟下町の企業や地域団体が集い新潟下町・早川堀通りエリアにおいて、各チームによる早川堀にキャンドルを使用してのアート製作を行い、光の饗演を開催。その結果、地域の子どもたちが多く参加してくれました。キャンドルの設置にあたっては、新潟大学など、多くの学生が参加してくれました。

普段、高齢者が多く、子どもたちの声の聞こえない下町で、子どもたちや若者が参加してくれたことは大きな成果でした。新しく引っ越してきた住民も参加してくれたという話も聞かれました。若者の居住もみられるようになっており、今後、こうした参加型の取り組みを続けていくことで、新しく来た住民と昔からの住民によるコミュニティの活性化を目指してまいります。

●9月16日(日) キャンドルナイト (中央区西湊町3ノ町本間組本社前)